



第2回目のアンケートにご回答いただき、ありがとうございました。集計結果を報告いたします。□  
結果については学校評価委員会で取り上げ、協議しました。今後の学校教育に活かしていきたいと考えています。  
また、学校運営協議会でも報告し、ご意見をいただきました。地域の皆様と連携して、よりよい学校づくりを進めていきたいと考えています。

## 分析と考察

### ＜児童について＞

今年度、研究教科を音楽科から体育科に変更し、「自ら健康や安全について考え、命・心・体を大切にできる子どもの育成」を目指して取り組んできました。日々の学校生活の中で、子どもたちは自分の体調の変化を自分で気づいて、行動につなげようと意識しつつあるように思います。また、体調不良やけがの際、自ら考え、担任や保健室、職員室に相談することができるようになってきたように思います。この変化が他者意識にもつながり、自他の命・心・体を大切にできるようこれからも指導を継続していきます。

音楽科においても、これまでの研究を生かし、ジョイフル活動を続けることで、子ども同士が高め合っています。そこには、自尊感情や人権感覚の高まりを感じることができます。保護者や地域の皆様にもご参観いただき、生き生きと活動することができます。

学校アンケートの結果では、全体を通して大きな変化はなく、多くの子どもたちが仲間と共に楽しく学校生活を送っていることが分かります。一方で、不安や悩みを抱えている子どももいます。子どもに寄り添い、教職員としてかかわっていきたいと考えています。特に、第1回でも課題であった(11)(12)については、改善を図ることができませんでした。子どもたちが、主体的・対話的で深い学びの実現に向かって、生き生きと活躍できる授業改善を、今後の最重要課題としてとらえ、来年度の学校経営を図っていきます。

### ＜教職員について＞

子どもたちが安心して学校生活を送ることができるよう、教職員一同教育活動を行ってきました。いじめは絶対に許さないという姿勢を示し、アンケートや聞き取り、日々のかかわりを通して、子どもたちを守っています。体調管理においても、子どもの様子を観察し、健康で安全な学校生活を送れるよう寄り添い、指導をしています。日々の授業を大切に、1時間の授業の質の改善に向けて取り組んで参ります。至らぬ点もあったとは思いますが、今後ともよろしくお願い申し上げます。

学校アンケートの結果では、第1回で課題となっていた(7)(9)の改善を図ることができました。教職員にとって、子どもの学習環境を整えることは、最も大切なことのひとつです。学習の準備を忘れないようにすることや、家庭での学習習慣を身に付けさせることを意識し、ご家庭との連携を深め、子どもたちが時間を大切に学習に向かっていくよう、今後も修養と研鑽に努めています。

### ＜保護者について＞

保護者の皆様につきましては、いつも本校教育にご理解とご協力を賜り、本当にありがとうございます。授業参観での励ましのお言葉、忙しい中のPTA活動など、学校教育においても子どもたちのためにご支援いただき、ありがとうございます。

学校アンケートでは、(2)(6)において、さらにご協力を賜りたい結果となりました。学校の指導とご家庭の声かけの両方があることで、子どもたちの意識は大きく変わります。掃除や後片付け、早寝早起きへの励ましのお言葉をよろしくお願い致します。

### ＜今後について＞

アンケートにご協力いただきありがとうございました。子ども・家庭・学校が、アンケートを通じてそれぞれ自己評価をすることで、課題が見えてきました。学校教育をふり返り、課題に対してどのように解決していくかを考えるよい機会になりました。教職員が共通の意識をもって学校教育の向上に努めています。また、自由記述欄にもたくさんのご意見をいただきました。ありがとうございます。その中で、「質問項目が分かりにくい」というご意見をいただきました。来年度のアンケート内容の検討を図りますのでお知りおきください。

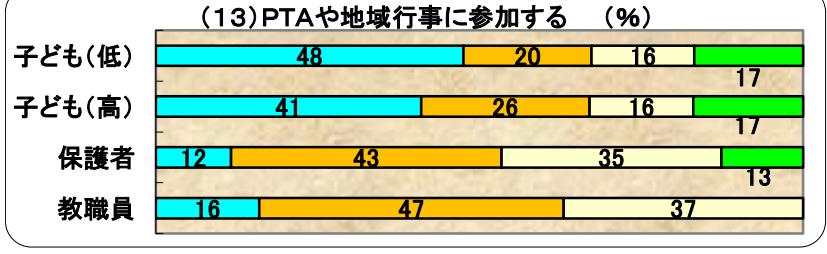
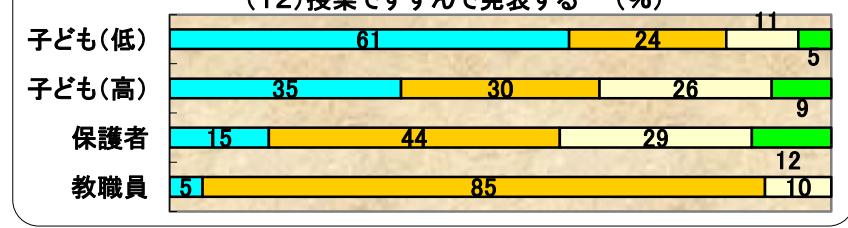
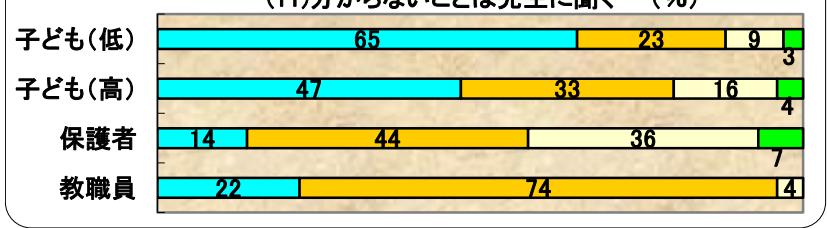
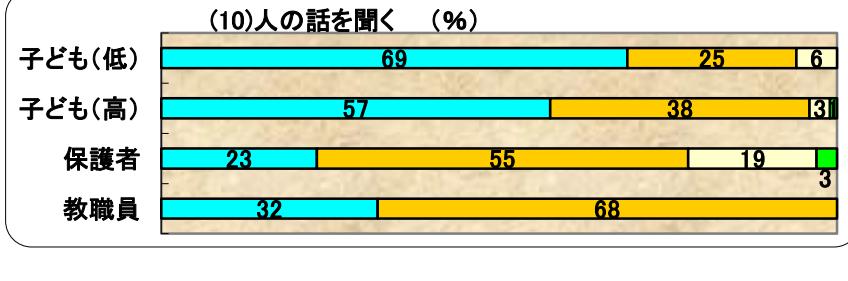
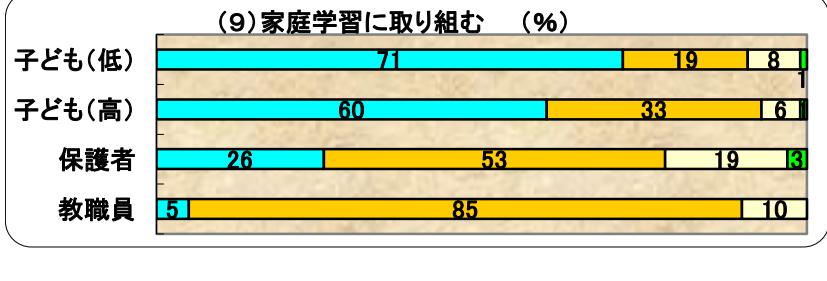
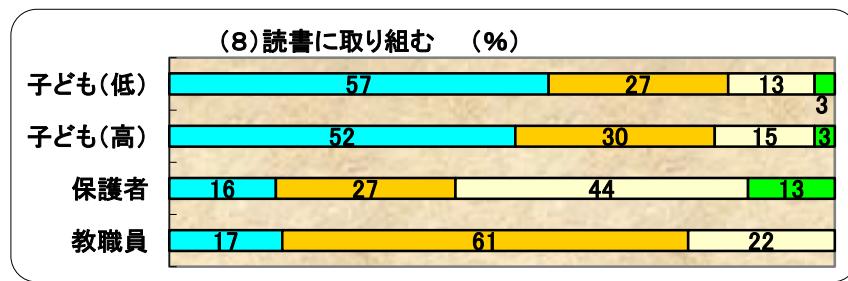
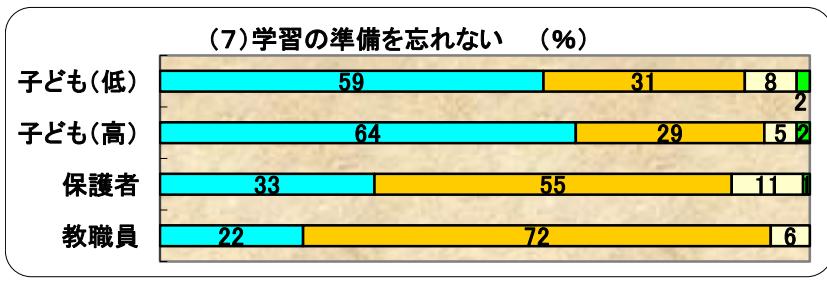
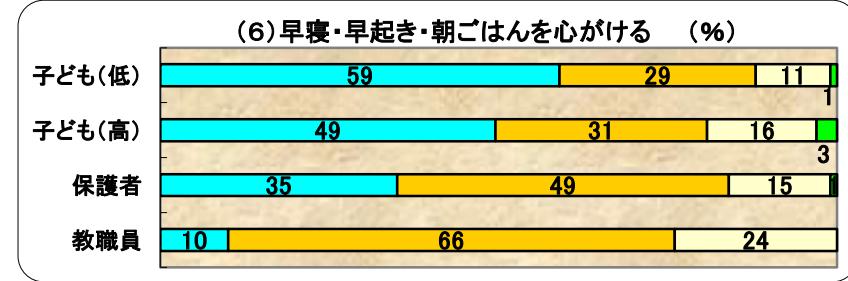
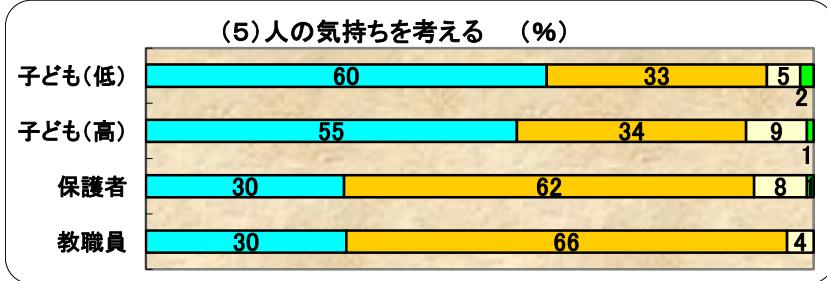
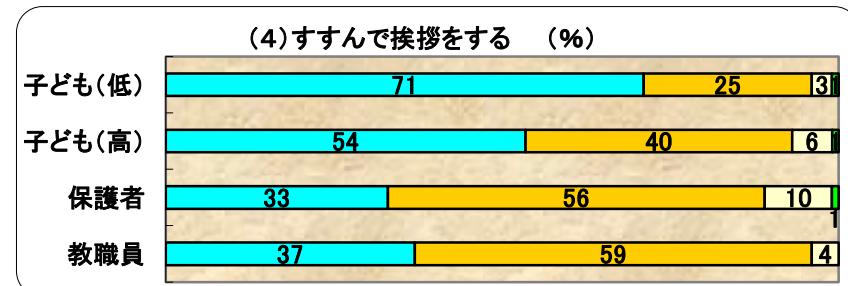
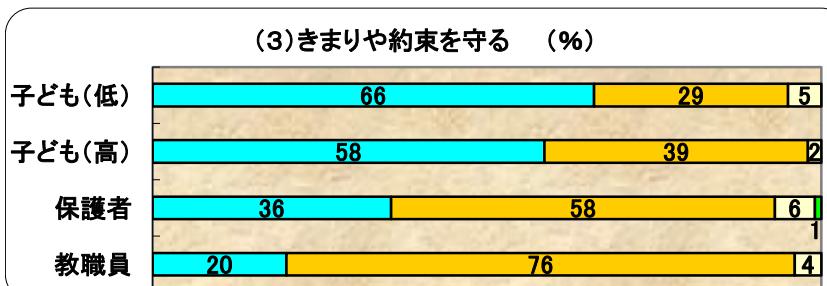
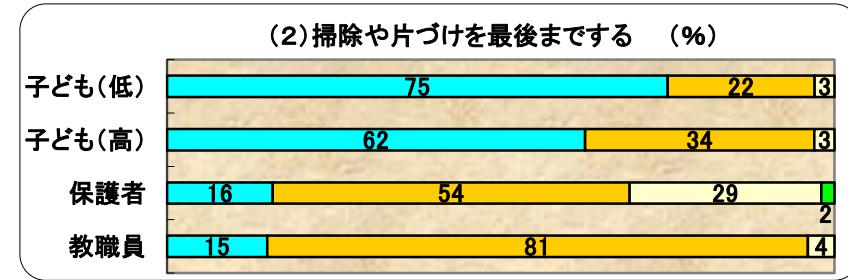
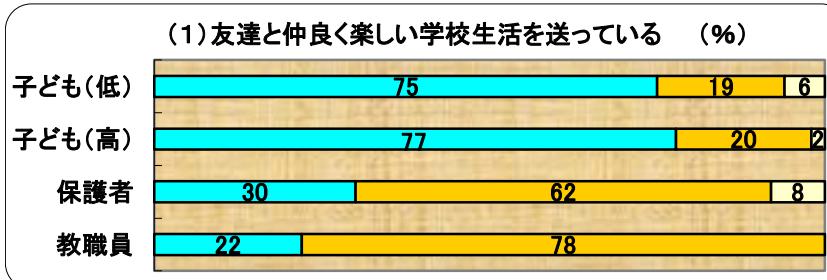
アンケートの記入について、今後もご理解とご協力をよろしくお願い致します。

第2回目のアンケートにご回答いただき、ありがとうございました。集計結果を報告いたします。

凡例（左から） Aよくできている B大体できている Cあまりできていない Dできていない

アンケートは、子ども・保護者・教職員それぞれによる自己評価です。子どもについては、自分自身の実現度を質問しています。保護者・教職員については、自分の子どもへのかかわり方での実現度について質問しています。

(例)児童：友達と仲良く楽しい学校生活を送っている。  
保護者：誰とでも仲良くするように働きかけている。  
教職員：友達と仲良く楽しい学校生活が送れるよう学級づくりを進めている。



※教職員については、担任でないと答えられない項目もありますので、無回答は母数に入れていません。